



## 「営業統括センターの新設について」 提案を受ける！

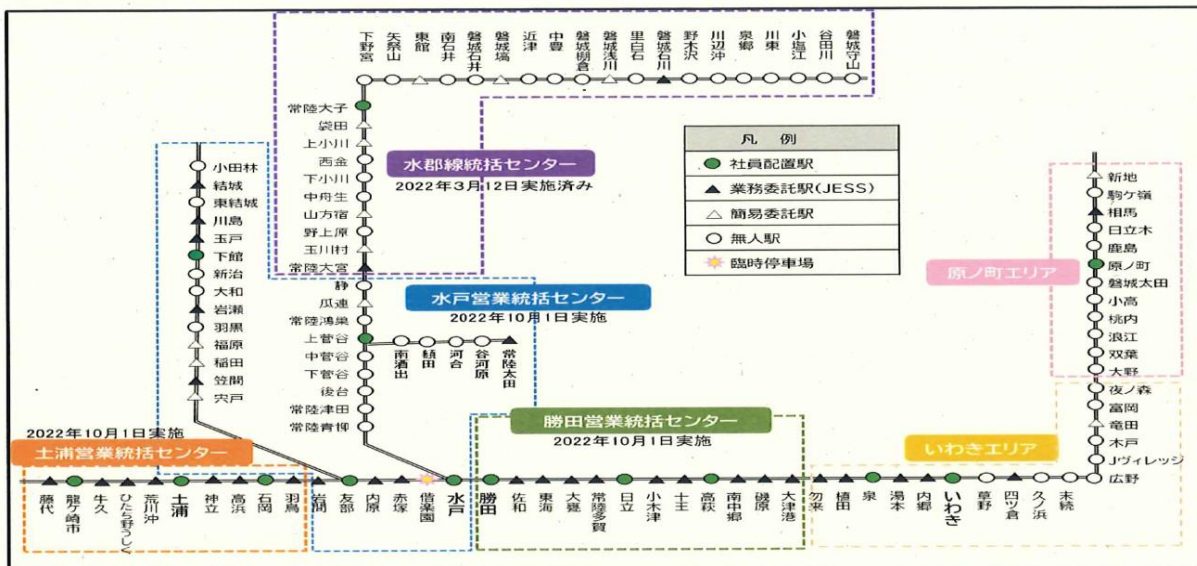
JR東労組水戸地本は4月1日、水戸支社より「営業統括センターの新設について」提案を受けました。その内容は、「土浦営業統括センター」「水戸営業統括センター」「勝田営業統括センター」を2022年10月1日に新設するというものです。

団体交渉での主な内容は以下の通りです。

- <組合> 今回の3つのエリアの営業統括センター設置の目的を明らかにすること。
- <会社> これまでの縦割りの業務ではなく、柔軟な働き方の中で、社員一人一人の成長を目指すこと。
- <組合> 提案資料に「鉄道起点のサービスからヒト起点のサービスへの転換」とあるが、水戸支社としての具体的な考え方を明らかにすること。
- <会社> これまでは鉄道輸送を起点としていたが、今後はお客さまを起点としてニーズに応える生活サービスの面も含めて検討し、柔軟な働き方を実現していく。
- <組合> 営業統括センターのエリア設定の根拠を明らかにすること。
- <会社> エリアの規模、線区や範囲、社員数、ATOS区間の区切りなどを検討した結果である。
- <組合> いわきエリアと原ノ町エリアを営業統括センター化しない理由を明らかにすること。
- <会社> 今後、どのような体制にするかは検討中である。
- <組合> 営業統括センターと各運輸区との融合、兼務、連携について明らかにすること。
- <会社> 運輸区との兼務は検討中だが、企画業務やイベント、地区の行事などについての連携を考えている。
- <組合> 各営業統括センターの体制等およびその詳細を示す時期を明らかにすること。
- <会社> 体制等については検討中である。時期については一定期間をおいて示していく。

○水戸支社エリア

□ 今回提案された営業統括センターエリア



**組合員の皆さんの「安全・健康・ゆとり・働きがい」を第一に、  
今後も、様々な施策に立ち向かっていきます！**